

～持続性の実現～

2013年7月10日発行 7月号 No. 221

◇「総会懇親会で大高会長よりいただいたご挨拶」 ◇「総会を終了して」

第26回 通常総会懇親会

東京都トラック協会 ロジスティクス研究会



東ト協会長 大高一夫



本部長 松本 有司
〔台東支部 金方堂運輸(株)〕

過日6月11日に開催されました第26回東京都トラック協会ロジスティクス研究会通常総会に於きましては、大高会長をはじめ、関係省庁各団体・組織の皆様、諸先輩方に多数のご臨席を賜わり、大変勇気付けられました。感謝と共に改めて厚く御礼を申し上げます。

当日の挨拶と重複しますが、我国全体が様々な意味合いに於いて変革期を迎えたと思慮致します。閉塞感や懸念材料を並べるよりも、今は微細な変化の中から活路を見出し、それに挑戦することが必要です。我々ロジ研が抱える問題は山積ですし、改めて言うまでもありませんが、大高会長からの直接指示として我々業界の要求に対する確実な実行効果を求める上では、従来以上に政治力と言うパワーを活用することが重要であると認識して居ります。

我々業界が全産業の活力に影響を及ぼす存在であることを理解した政治家を味方に付けなくてはなりません。またこの課題に挑戦するには、ロジ研の少数メンバーの活動ではあまりにも微力であり、我々業界の会員お一人お一人の人脈、各支部の影響等、あらゆる方法を一致団結して実行することが望まれます。

現在、商工会議所の選挙に大高会長が立候補されておりますが、選挙協力だけではなく、その結果によって荷主団体、産業界への影響力を図るという目的を今一度再確認することも必要ではないでしょうか。三組織の連携強化は勿論のこと、未だロジ研メンバーが存在しない渋谷、世田谷、豊島の各支部に於かれては、一致団結の目的をご理解願ひ、先ずは連携が図れるようお一人の会員をご登録頂くことと、ロジ研に対する尚一層の叱咤、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。業界の持続性を実現する為、変化の中に夢を抱き、今出来ることを確実に進めて参る所存であります。

総会が滞り無く終了され誠にありがとうございます。

ロジ研の皆さんには、これまで関係各方面に業界の実態や声を積極的に発信いただくなど、協会の事業活動を様々な角度からバックアップいただき、改めて感謝申し上げます。

25年度の事業計画を拝見しますと、そこには、「座して夜明けを待つのでは無く」「学んだことを実行すること」とし、まず「変化した内容に気づくこと」、次に「変化した内容に順応すること」が必要だとの方針が掲げられております。

果敢なチャレンジ精神をみることができ、頼もしさを感じた次第であります。

課題山積ではありますが、業界一丸となって実態を訴えつつ、ひとつひとつ確実に結果を出していきたい、そんなふうを考えておりますので、今後とも皆さんには業界のシンクタンクとして大いに力を発揮していただきたいと願っております。

松本本部長を中心としたロジ研のますますの発展と、ご参会の皆さんのご健勝ご多幸を祈念申し上げ私の挨拶とさせていただきます。

平成25年度事業計画書（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

1. 活動方針

運送業界全体と東京都トラック協会、更にはそこに所属する会員である我々の「持続性の追求」をテーマに活動してきたが、昨年12月16日の衆議院選挙より始まった我国政局の変化は、折りしも本年3月14日に集大成として実施したフォーラム7の終了後に株価等劇的な環境変化をもたらした。まだ実体経済が回復した訳ではないとの指摘も多いが、昨年の閉塞感、暗中模索の中、一燈掲げて暗夜を進まざるを得ない局面に比べれば遥かに複数の道標が灯火として示されている。単なる政局の変化だけでここまで変わるであろうか。米国の実体経済の回復、米国から見た対中国に対する日本の位置付け、世界的エネルギー需給の変化など様々な要素が相乗効果的に発揮された結果ではないだろうか。機関紙「ひびき」の新年号にて「暗夜を憂うことなかれ、ただ一燈を頼め」佐藤一斉の言葉には続きがあることをお伝えしたが、もはや暗夜を憂う必要どころか夜明けが近いとさえ感じる。ただ重要な事は座して夜明けを待つのでは無く、持続性の追求によって学んだことを実行すること。即ちことを持続させる為には変化が発生した場合にその変化した内容に先ず気付くこと、次に変化した内容に順応することが必要になる。

フォーラム7に於いて三橋貴明氏が指摘したデフレ脱却は方向性が見出され、高岡美佳氏が指摘した社会的責任下で我々が遵守すべき内容も判明している。しかしデフレからの完全脱却を定着させる為には、過度な安売りを自粛して再生産可能な利益を獲得し続けなくてはならない。コンプライアンスと総称される事柄を社会的責任下で守る為にも「安かろう悪かろう」からの脱却が必要になる。採算割れでは企業の持続はならない。

昨年度後半には国交省とのヒアリング事項として書面化によって、未収受の附帯作業を明確化する等の方針も打ち出された。「持続性の実現」をテーマにするのであれば、今回の国交省の書面化提案が我々にプラス作用になるか否かを見極め、問題が発生した場合は再度意見を述べる必要もある。持続性を実現するにはその効果を見極めなくてはならないと言える。

また業界関係者ではない一般公聴者のセミナー参加と意見交換は、この一年の活動の中でも特筆すべき事項になった。我々の活動を第三者がどのように評価したかを検証するには好適であり、実際に運送業界の苦境、真剣な挑戦を感じ取って頂けたことからこの新年度に於いても継続、拡大していきたい。持続性を実現する為には角度を変えた検証が必要である。

2. 年間統一テーマ 「持続性の実現」

注釈)

持続性の追求とは、オピニオン第三項に記載の通り時流の変化に即応しなくてはならず、大きな時流の変化を生じた現在、業界、協会、我々企業の持続性にとってプラスに作用する全ての要素を取り入れ、その実現を図るものとする。

過去を振り返れば8年間に及び運送業界の哲学を探求して来たが、本年度末の「持続性の実現」にて基礎編を終結し、平成26年3月末にオピニオンとして取り纏め、以後は物流業界の変革など新たな挑戦を図って行きたい。

3. オピニオン (政策提言活動の実施)

現在のオピニオンを踏襲し、平成25年度活動、フォーラム8の結果を踏まえて取りまとめる。

4. 事業計画

(1) 研修会の体系的・計画的実施

年間統一テーマにかかる内容で効果的な研修会を実施する。

(2) フォーラム8の開催

年間統一テーマに即した企画で実施する。

(3) 納涼会の実施

会員間の親睦を図るとともに、関東運輸局・東京運輸支局長表彰等受賞会員を祝賀する納涼会を開催する。

(4) 温故創新セミナーの実施

歴史上の人物の足跡を現地で学ぶ「温故創新セミナー」は、ここ数年明治時代を中心に中国、大連や台湾・台北等を訪ねたが、本年度も古きを訪ね新しきを創るセミナーを企画し、実施する。

(5) 研究視察の実施

国内外の交通物流事情や経営環境等を学ぶため関連する施設の視察や現地の関係者との意見交換を実施する。

(6) 人材養成事業への協力

ロジスティクス研究会が青年部OBによる自主的研修集団として発足した経緯に鑑み、今後とも東ト協の人材養成事業に協力していく。特に次世代経営者を養成する「物流経営士課程」については、旧壮年部員が参加した特別物流経営士課程がその嚆矢(こうし)となっていることから、講師・指導員として協力していく。また、運輸事業助成交付金による支部研修活動についても、三組織による合同研修会の企画等についてリーダー的役割を果たすよう務めていく。

(7) 広報活動の充実

機関紙「ひびき」は、会員の貴重な情報源であることから、テーマを決めた紙面作り等により工夫を凝らしていくとともに、ホームページとの連動を図る。また、ロジスティクス研究会ホームページについては、活用の可能性を高めながら引き続き展開・運営していく。

(8) 忘年会の実施

会員間の親睦を図り、新年に向けた鋭気を養うため忘年会を実施する。

(9) 親睦ゴルフコンペの実施

健康増進とコミュニケーションを図るため、親睦ゴルフコンペを企画する。

(10) 組織の充実強化

各支部の実情を把握し、会員の加入促進を図る。

(11) 東ト協本部との連携強化

東ト協本部との連携を更に深め、諸施策等を密接な連絡体制のもと推進する。

(12) 三組織の連携

三組織合同セミナー・交流会等の実施

①青年部、女性部との三組織は、世代、性別を超えた物流事業経営者としての連携を強めるため、合同の事業を企画・実施している。本年度は、例年2月に開催している三組織の合同セミナー・新年会は青年部が担当する年であるが、ロジ研としても会員の力を結集し、協力する。

②三組織連絡会の運営

三組織の連携をより密にし、各組織の事業の円滑化を図るとともに東ト協の政策の浸透を図るため、定期的を開催する。

(13) 関東運輸局自動車交通部・東京運輸支局との情報交換の推進

合同でトラック産業の将来ビジョンに関する勉強会等を開催する事により情報交換を推進する。

(14) 海外交流分科会の活動

タイトラック協会との交流を継続すると共に、ベトナム等も現地組織等を調査する。

◇「<美食の点呼記録>・・・⑫」

夏の土用の丑は7月22日。高値とはいえ、やはり縁起は担ぎたいもの。今回は新宿からちよいと足を延ばし荻窪の名店を訪ねてみた。荻窪駅から5,6分の場所、荻窪高校の向かいにあるうなぎ屋『安斎』要予約の店で、時間に遅れない様に念を押される。苦手なうるさ型の店か・・・店に着くと暖簾が掛かってないので前で待つと女将さんが出てきて『どうぞ』の丁寧な対応。家族で経営している様だ。2階の座敷に通される。こじんまりとしているが、うなぎ供養の御札が期待を高める。まずはひれ焼き。15匹分を使い焼き過ぎない程度に火を通し、薄くたれが掛かっている。ウマイ。肝焼きと続いて白焼きの登場だ。臭みはなく本来の味を堪能できる。余韻に浸っていると絶妙のタイミングでうなぎが運ばれてきた。実に艶やか、上品である。大盛りにしておけばよかった・・・

非常に満足で店を後にしたが特筆すべきは気遣いである。いらっしゃいませ、と手をついた挨拶から始まり、席を立ち階段手前の扉を引くと『お足下ご注意ください』と下から聞こえる。うなぎが美味しいのは当然だが、この店が選ばれる理由が分かった気がする。帰りの電車でウチの会社がお客様に選んでもらう理由を考え直したのは言うまでもない。

安斎 03-3392-7234 杉並区荻窪 4-12-16

11:30-14:00 17:30-20:00

<ペンネーム 常時無礼講>

◇スケジュール《○ロジ研行事予定》

○ 7/16(火)16:00~ 正副本部長会議 (東ト総合会館6小)

○ 8/ 2(金)16:00~ 正副本部長会議 (東ト総合会館6小)

18:00~ 納涼会 (明治記念館)

8/29(木)16:00~ 三組織連絡会 (東ト総合会館6中)

◇「アジア・シームレス物流フォーラム2013」

今月18日(木)、19日(金)の2日間東京都立産業貿易センター(浜松町館)3F展示ホールで開催されます。開場時間は10:00~17:00で展示コーナーの入場やセミナーの聴講も無料です。事前にWeb登録が必要です。www.mf-p.jp/asia/です。特に18日の12:35~14:15の「アジアのパレット標準化と物流シームレス化」では、アジア各国の政府・物流団体代表が参加する予定ですので、今後ロジ研の国際交流活動の参考になればと思います、ご案内させていただきました。